

市立小学校分校の本校統合による教育環境充実の基本方針

定例教育委員会において、下記のとおり基本方針を決定しました。

1. 背景

市立小学校分校は、地域の皆様に支えられながら長年にわたり教育活動を展開してきましたが、少子化の進行により児童数が大幅に減少し、学校の役割が十分に果たせない状況にあります。

今後も児童数の増加は見込めず、分校を存続した場合には複式学級（2 学年合同）による授業の常態化が予想されており、分校を各本校へ発展的に統合・集約し、児童にとってより良好な教育環境を構築するため、協議を重ねてきました。

各分校の在籍児童数

	山内東小学校				山内西小学校	
	犬走分校		舟原分校		立野川内分校	
	1 年	2 年	1 年	2 年	1 年	2 年
令和 8 年度	0 人	3 人	2 人	0 人	0 人	4 人
令和 9 年度（予定）	0 人	0 人	0 人	2 人	0 人	0 人

2. 基本方針

「子どもたちにとって良好な教育環境を確保すること」を最優先事項とし、すべての分校を各本校へ統合する。

3. 対象校

武雄市立山内東小学校 犬 走 分校
武雄市立山内東小学校 舟 原 分校
武雄市立山内西小学校 立野川内分校

4. 分校の本校への統合日

令和 1 0 年 4 月 1 日 ※同年 3 月 3 1 日をもって分校は閉校となります。

- ・犬走分校及び立野川内分校は、令和 9 年度の休校期間を経て本校へ統合。
- ・舟原分校は、令和 9 年度に新 2 年生が在籍、休校期間をとらず本校へ統合。

5. 分校校舎の活用計画

不登校支援等の教育施策を拡充し、子どもたちの多様なニーズに応えるため、引き続き教育施設としての活用を計画しています。

「教育支援センター」（スクラム）移設、「学びの多様化学校」新設など

「教育支援センター」とは

登校できない児童生徒に対して、個々の実態に合わせた教育相談や学習支援、体験活動を行う施設。現在武雄町内に設置。

「学びの多様化学校」とは

不登校児童生徒等が通いやすいように、柔軟なカリキュラムや特別の教育課程を編成して教育を行う、文部科学省に指定された学校。不登校児童生徒（令和 6 年度全国 35 万 3970 人）に対応するため、文部科学省は令和 9 年度までに、全国の都道府県に各 1 校以上の「学びの多様化学校」設置を進めているが、佐賀県内には未だ設置されていない。